

## 巻頭言

代表取締役社長 **西村 陽**  
Nishimura Akira



平素より当社製品・サービスをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年度から取組んできた中長期計画VISION2025は、当初の計画を上回る実績を上げ、次期成長につながる成果を得ることができました。これは、皆様のご支援、ならびに社員一人ひとりの努力の結集によるものであり、心より感謝いたします。

2026年度からは、次期中期計画を始動します。国際情勢の不安定化など、不確実性が一段と高まる中であっても、2050年カーボンニュートラルへの歩みは確実に続いていくと考えています。再生可能エネルギー拡大と電力安定供給の両立、レジリエンスの強化、デジタル化・省人化の加速など、社会からの要請はますます高度化しています。こうした要請に対し、当社は高電圧・系統解析・精密加工・制御技術といった独自技術をさらに磨き上げ、持続可能な社会の実現に貢献する「トータルエネルギーソリューションカンパニー」を目指していきます。

次期中期計画では、次の三点に注力してまいります。

第一は、事業運営の大前提である安全体質の強化です。「安全はすべてに優先する」という不動の原則のもと、「安全はみんなの力で！」を合言葉に、設備・ルール・教育・風土を一体で高め、ゼロ災を継続する組織を目指します。あわせて工場の職場環境改善も進め、より安心して働ける現場づくりを進めます。

第二は、環境社会の進展に応える新製品・新サービスの提供です。当社独自の技術に加え、住友電気工業株式会社とのシナジーも活用し、系統の安定化や分散エネルギーの最適運用に資するエネルギーソリューションを拡大するとともに、環境配慮型製品やリモートメンテナンス・スマート保安のラインアップを拡げます。またイオン注入装置や電子線照射装置についても、顧客の競争力強化に貢献する製品ポートフォリオの拡充を進めます。

第三は、十年先を見据えた強い基盤づくりです。生産基盤の強化、現場力の継承と人材育成を体系的に進めるとともに、設計・製造・調達・サービスにまたがるデータ連携を強化します。業務革新と生産性向上を全社で展開し、あわせて強靱なサプライチェーンを構築することで、生産力の向上を図ります。また装置部品ソリューション事業では、顧客のQCD（Q：品質、C：コスト、D：納期）要求に応えるグローバルな受託体制を構築します。

本号では、特集「2025年の技術と成果」として、電力設備分野におけるさまざまな用途への展開に加え、電子線照射装置、高電圧試験装置、イオン注入装置についての取組みを紹介しています。さらに、当社固有技術であるPVT（電源用計器用変圧器）を活用したマイクロ変電所の事例や、FPD（フラットパネルディスプレイ）製造向けに新たに開発したイオン注入装置に関する一般論文も収録しました。ぜひご高覧いただければ幸いです。

皆様から賜りましたご意見・ご指導を迅速に現場へ反映し、より良い製品・サービスの提供に一層努めてまいります。今後とも、日新電機グループへの変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健勝とご発展を祈念し、本技報の巻頭に当たってのご挨拶といたします。